

富山県富山市立 雲雀ヶ丘保育所幼年消防クラブ

富山県富山市立雲雀ヶ丘保育所

富山市立雲雀ヶ丘保育所のある富山市は、富山県のほぼ中央に位置しており、北は「海の幸の宝庫」富山湾に面し、南は標高3000m級の雄大な立山連峰がそびえたつ自然豊かな地域です。

富山市立雲雀ヶ丘保育所は、そんな富山市の中心市街地に位置し、昭和45年の開所後、昭和62年11月30日に幼年消防クラブを結成し、それ以降、幼年期から防火防災の知識を身につけようと、正しい火の取扱いや火災の恐ろしさ、地震への備えなどを学び、地域において防火防災広報活動などを行っています。

具体的には、例年実施している「防火教室」で消防署の方々から、防火紙芝居などを通して、火災の恐ろしさなどを学び、大きな声で「火あそびは絶対にしません。」と誓っています。また、防火教室で学んだことをお家に帰ってから家族にお話するようにしています。

この他、消防署が企画する「消防・防災フェア」などのイベントに出演し、多くの来場者にお遊戯を披露したり、近くの事業所や人が集まる施設に出向き、防火法被を着て「ちびっこ消防士」として、集まった人たちに「火の用心」を呼び掛けています。

これからも、防火防災に対する知識が身につくよう取り組みを続け、様々な活動を通して、火災や災害への備えと命を守ることの大切さを伝えていきます。

将来、自分自身や家族、地域を守る大人へと成長するために。



愛知県美浜町立 布土小学校少年消防クラブ

愛知県美浜町立布土小学校少年消防クラブ
代表 石川 稔



布土小学校は、愛知県知多半島の南部、美浜町に位置しています。布土小学校には、布土区と時志区からなる布土学区の児童が通学しています。このうち5、6年生の児童全員が少年消防クラブ員として、クラブ活動を通して防火・防災に対する意識の高揚を図っています。例年は、愛知県消防学校への一日入校や野外教育活動における教材用花火を活用した体験学習を行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、こうした学びの機会が減少しているのが現状です。

しかし、このような状況であっても、布土小学校が以前から大切にしていることがあります。それは、地域とのつながりです。

布土学区は、東に三河湾が面しており、南海トラフ巨大地震が発生した場合には津波や地震による大きな被害が予想される地域です。その被害を少しでも軽減するために、これまで地域一丸となって防災活動に取り組んできました。その取組が実を結び、平成26年度に内閣府が選定した地区防災計画モデル地区の一つに選ばれました。地区

防災計画を策定する際には、子どもたちも地域に生きる大切な一人として、小学校の防災訓練を地域と連携して実施する仕組みをつくることに重点を置いています。

地域住民と小学校が合同で訓練を行うことで、子どもたちの防災意識の向上だけでなく、地域とのつながりをより一層強めることができます。そして、この子どもたちが将来、次世代の子どもたちを導いていけるように、布土小学校はこれからも地域のつながりを大切にします。

